

「縄文」の技術と現代

持続可能な社会と技術

現代の暮らしを支える技術の中には、その起源が縄文時代まで遡って考えることができるものもあり、縄文文化は、日本の基層文化であると考えられています。

例えば、最古で最強の樹脂である漆、接着剤としてのアスファルトの利用、織物、編物、やじりや斧などの石器、動物の角や骨などを使った針、縄文土器などの生活道具も高度な加工技術の成果です。浅層地下水や湧水を活用した「水場」では、水さらしによるでんぷんの採取や栗など食品の保存加工が行われました。世界で最も持続的な木材をはじめとする自然資源の利用・管理のシステムといわれる日本の里山のルーツも縄文時代に求めることができます。

さらに、近年では遺物や遺構を調査する従来の考古学に対し、縄文の暮らしについて当時の人々の技術を可能な限り再現し、その効果や資源利用など人の経済的な活動内容を解明する「実験考古学」から、丸木舟や竪穴住居作りの実際、竪穴住居の温度管理などについてさまざまなことが明らかになってきました。

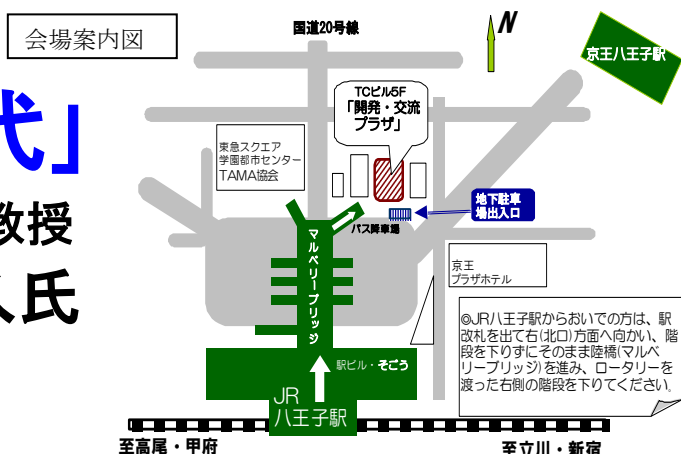
今回のセミナーでは「縄文」を、たんなる過去ではなく未来に生きる日本人の知恵と工夫のモデルとしてとらえ、近年の発掘調査や実験考古学の成果等縄文の技術と暮らしについての最新情報をご講演いただきます。日本の風土を活かしたこれからの持続的なものづくりの方向性を考えるきっかけとしていただければ幸いです。

◎日時 平成21年3月25日(水)
午後4時～6時

◎場所 八王子先端技術センター開発・交流プラザ

◎「縄文の技術と現代」

講演 首都大学東京都市教養学部 教授
山田昌久氏



◎主催：八王子市 後援：：社団法人 首都圏産業活性化協会／サイバーシルクロード八王子

◎参加費無料 定員40名 終了後交流会を予定しています：参加費1000円

○参加申込先

八王子先端技術センター「開発・交流プラザ」までTel・fax・メールでご連絡ください。

Tel/FAX 042-648-3276 e-mail u6895cu429x@asahi-net.or.jp

社名 交流会参加 する しない

参加者氏名 役職

Tel e-mail

参加会社・組織の名簿を配布しますが記載への同意を する しない

□申込に際し記載していただきましたその他のデータは八王子市が主催、後援するセミナー等の周知以外には使用しません。